

シルバー人材センターとのタウンミーティング

2019.6.24（月） 19：00～20：20

ふるさと交流研修センター さらい

○参加者 市民 32名

○タウンミーティング議事録

【市長開会あいさつ】

ご参加いただきありがとうございます。

水不足が心配されたが、雨が降って観測水位はこの2日間で回復してきた。6月1日から皆様方に節水のご協力をお願いしていたが、それもいったん取りやめた。昨年7月5日に大雨警報で市内一部の地域に避難勧告を発令した。適量の雨が降って欲しいという思いでいる。

今日は、皆様方から数々のご質問・ご提言を頂いている。後ほど、私から能美市の概況をご説明したのちに、一つ一つお答えをさせて頂く。限られた時間ですがお付き合いをお願いしたい。

【シルバー人材センター理事長あいさつ】

シルバー人材センターのタウンミーティングを計画したところ、市長にはお忙しい中ありがとうございます。市より公共施設を使用させていただき、多くの高齢者の就業確保ができ、働く喜びを感じている。本日の意見交換で、センターの理事、互助役員を含め、センター運営の統一の考えにしたいと思っている。

4月に市へ要望書を提出した。センターの発展と住んでよかったまちづくりに、微力ではあるが会員一同協力を惜しまない。

【意見交換】

1、会員増強について

（理事長）

- センター発足当時は、60歳定年を迎えてまだまだ働く意欲があり、生きがいと地域貢献を目指して入会してきたが、昨今は人材不足に伴う定年延長や再雇用で、入会される年齢が高くなっていて、入会者も増えない。そのような中で市民からの仕事の依頼も受けられないといった状況である。全国のシルバー人材センター事業協会では全国の会員10万人を目指している。能美市では最終目標604人で、行政とタイアップして少しでも会員確保ができればと考えている。高齢者の福祉政策の中でシルバー人材センターの入会促進の手立てはないか。

シルバー人材センターでの取組みでは、ハローワークで相談会を開催しており、今年度はシニアフェスタを行う予定である。

(市長)

- 今までいろんな形で入会のPRをしていたが、やりがいがある、楽しいということを感じられるような宣伝方法を考えて取り組んでいきたいと思っている。たとえば広報のみなどで皆さんが活き活きと取り組んでいる様子を載せたり、そんなポスターの作成を考えている。また、タウンミーティングなどでもPRをしていきたいと思っている。

先日、くるくる工房を視察したが、良いものが置いてある。市のホームページを使ってPRすることでやりがいを感じてもらい、入会に繋げるような仕組みをやってみたいという思いをしている。

何よりも一番効果があるのは、口コミだと思っている。入会されている方からの一緒にやろうというお声掛けを更に強めて頂ければと思う。

2、地域就業機会の創出・拡大について

(市民)

- 地域就業機会の創出というのは丸いもの栽培の件で、今から10年以上前になるが、仕事がきついということもあり会員にも迷惑をかけたりしながら、現在やっている。丸いものは平成28年9月に農林水産省におけるGIの認定を受けた。それによってブランド化されて、売れているようで、ここ3年の間に収量が増えている。この間に就業拡大の創出ということで国の助成金をもらい、市からも助成を受けている。これも令和元年度でなくなる。今後、丸いものを能美市の特産品として全国に発信するということであれば、シルバー人材センターでも丸いもの栽培に力を入れていくので、市としてシルバー人材センター並びに丸いもの栽培者に対する助成をお願いしたい。
- 保育園の合併統合により、空き家になっている保育園があると思う。丸いもの収穫時には西任田の保育園施設を利用させてもらっている。この保育園の遊戯室・トイレを壊さないでシルバー人材センターの作業所として利用させて欲しい。

(市長)

- 丸いものに関しては、おっしゃるとおり能美市として重要な特産品のひとつである。これまで同様に支援をさせていただき準備をしているので、個別にいろんなことをご相談いただきたい。
- 旧保育園施設の有効利用については、ほとんど何かしらと使っている。旧長野保育園は、今、博物館にあったものを収蔵している等、その他のところもほとん

ど有効に使っている状況である。旧西任田保育園をどうしていくかということに関してはご要望としてしっかりお聞きしたので、それをふまえて、今後の活用について考えていく。

3、公共施設の維持管理業務について

(市民)

- 能美市の保育園や小中学校の公共施設では一般的な剪定や草刈りの保守は契約を結んで、やらせていただいている。しかし、これでは日常の管理はできないのではないかと考えている。そこで、例えば、学校施設という大きな枠の中で、過去に存在した用務員さんの存在のような仕事をシルバー会員が担うことができないかということを考えた。シルバーの会員が二人一組で複数のグループを作り、各施設を周り、数多くの人で作業することによって、会員の仕事も増えるというもの。特に、ゴミ集めや溝の掃除とかは定期的、その都度行わないとならない。
- 水道管理施設、史跡公園の草刈りはシルバー人材センターに依頼を頂いているが、それぞれの担当課から同時期に早くしてくださいと言われる。しかし、こちらでは対応が非常に難しく、年間契約を結んでいただき早い段階での発注を頂けたらいいのではないかと考えている。予算成立後、早い段階での連絡をお願いしたい。

(市長)

- このご質問をいただいてから、シルバー人材センターでどんな仕事をして頂いているのか調べた。草刈り、清掃、日直・夜直など多種多様にわたっている。計画的にやることと、突発的にお願いすることがある。縦割りとは言いたくないが、管理している部署が違うので、それをまとめて発注することが今までできなかったということもある。我々の方で整理をさせていただいて、どんな形でお願いができるかということを考えてみるので、改めて相談する機会が欲しいと思っている。
- 草刈り業務については、どうやって平準化できるかということも考えてみなければならぬ。合わせて時間をいただきたい。

(市民)

- 空き家バンクに登録されている家の周辺の草刈り、樹木伐採について、空き家に誰もいないから、小動物がそこに住んでいるという状況になっている。空き家バンクに登録されている家だけでも、公共施設の中にいれて、一部をシルバー人材センターで草刈りや樹木伐採等を受注できないか、検討して頂きたい。

(市長)

- 今、空き家バンクの登録は8件で、持ち主がいるところを、税金を使って草を刈ることが適切なのかという思いもある。

(市民)

- アライグマやハクビシンなどの小動物が、昼間、道を走ったりして、児童の下校時に飛びついたりという可能性も有る。そうならないようにという思いで言っている。

(市長)

- おっしゃる通りだと思う。我々も手を出したいと思うが、やはりその持ち主がやられることが本来の姿であって、行政としてどこまで手を差しのべるべきなのか、難しい問題だと思っている。検討事項にさせていただく。

(市民)

- 公共施設の草刈りをしているが、その処分について市のダンプを使うようにと言われるが、そのダンプはいつも空いているわけでない。予約して使わせてもらっているが、会員のトラックで運ぶという訳にはいかないのか。その方が良いと思っている。

(事務局長)

- 補足説明すると、公共施設のゴミ処分は、市から公用車を使って欲しいという指示がある。車の使えるときしか仕事ができないため、自分の車でできないかという提案です。個人の車を使うと車代がかかってくるため、費用の問題となる。

(市長)

- 市とセンターの間で取り決めたルールということだが、調べます。

4、センター事務所の確保について

(市民)

- 現在の事務所は、築28年が経過している。外壁がかなり劣化し、修繕費が高額になると予想されることもあり、今後の事務所運営を考えると他の施設へ移転できればと考えている。県内のセンターでは公的な施設に同居するか、その施設自体の管理を請け負って単独で入居しているケースがある。今後のシルバーの運営で、農産物直売所、リサイクルショップや生きがいを見つけられる教室などを

計画している中で、施設の管理を含めたリサイクルセンター等の公的な施設への入居を考えて頂ければ幸いである。根上にあるくるくる工房等も含めた中で考えて頂きたい。

(市長)

- 確かに手狭だという思いはしているが、今おっしゃったような農産物の販売所、リサイクルショップ、教室が開催できる事務所というような合わせたものを建てるとなると相当大規模なものになってしまう。また、根上地区、寺井地区、辰口地区の方々が仕事をされるのにそれぞれ近い場所に事務所があった方がいいという話も聞いている。そうすると集約した大きなものの方がいいのか、それともそれぞれの特徴を活かした場所で機能を持ったものを維持させた方がいいのかということもあろうかと思う。大きなものを建てられればよいが、財源が無いので、できることから考えていきたいという思いをしている。例えば、農産物の販売所は常時あった方がいいのか、それとも土日に青空市的にということであれば、今の本部の前にテントを立ててやることもできるだろう。それからリサイクルショップについては今根上にある。あれだけの規模があってあれだけの商品がありながら、年間に来るお客さんの数を聞いていると、実態を見ながらどんな形がいいのか検討が必要だという思いをしている。

5、農産物直売所の運営について

(市民)

- シルバー人材センターの中長期計画の中に直売所をつくるという計画がある。それは何年先になるかわからないが、直売所をどこかでやりたいという希望と計画を持っている。それには、会員の雇用、土地の利用などいろんな問題がある。具体的にはまだ考えていないが、農地を借りてやっていきたい。

(市長)

- 売れる場所の方がいいのではないかと思いますので、人通りが多い場所、別のことで人が集うような場所の方がいいのではないかという気がしている。今、能美市内ではお土産品を一堂に見られる場所が無いので、そんな施設ができないかということを考えている。例えばその一角に出てきていただくということも可能だろうという思いもしている。栽培する場所もだんだん少なくなっているという聞いています。市の持っている場所だけではなく、JA等から遊休地もあると聞いているので、そんなところにも問い合わせをしながら、相談に応じていくことができると考えている。

6、その他

(市民)

- 以前、東部地区振興会のタウンミーティングで、私は参加できなかったが、灯台笹にハッチョウトンボがいるがその草がものすごく多い、先端大の空地も草がすごいという意見があったとある方から聞いた。市長はそれを聞いて、業者さんに草刈りを依頼されると思うが、シルバーの会員は草刈りが上手なので、シルバーの人材を使っていただくと助かる。シルバーの会員さんの収入になる。孫や子供に、自分にも買い物をして、お金を使って、まわりまわって経済効果となる。

(市長)

- 東部地区のタウンミーティングのときに、ハッチョウトンボのいるあの周辺に水が不足しているのご提言があったような記憶があるが、草が生えて困るというのは記憶にない。あの周辺を整備していかなければならないという中で、皆さんにお力添えを頂ければならないときがあればお願いをしたい。先端大の敷地に関しては先端大が管理することだから、市で何とも言えないが、あの辺一帯のだと思うから、事務局の方と相談しながら対応していきたい。

(市民)

- ますます高齢化社会になるが、一人暮らし老人に対して、シルバー人材センターとして関わっていく仕事を頂ければと思っている。スタッフとしてそういうことの支援、お手伝いがすぐできるわけでない。前もっての講習受講や、体制を整えるためにも早い段階でお互いに話し合いをさせていただきたい。

(市長)

- 要望事項として承る。

(市民)

- ふれあいリサイクルセンターで仕事をさせて頂いているが、かなり利用に來れる。まだきちんとした整備がされていない。いつごろ整備されるのかということを知りたい。
- リサイクルショップにも來れるので、あの辺でリサイクルショップも考えていいのではないかと考えているが、そのことはどうか。

(市長)

- 寺井地区のリサイクルセンターについては、2020年の秋をめがけて、博物館の整備をしているが、それが終わったところに、順次、あの辺りの整備をしていく

いという思いをしている。あの辺一帯を、市民が集う場所にしていきたい。相当お金もかかるため、博物館建設が終わって、順次整備をしていく計画をしている。

- リサイクルショップについては、先日、根上くるくる工房を視察した。あれだけ欲しくなる品物がありながら、来所される人数を聞いていると、私が想像していたよりもだいぶ少ない。そのあたりをきちんと整理して考えていかないと、あちこちに作ればいいというものではないという思いをしている。例えば、ショップだけではなくて、直す場所も必要だろう。それから持ち込んでいただく時に、持ち込みやすい所でないと利用してもらえないだろう。大きな家具の場合はもって行ってもらうことが原則だという話も聞いているので、それぞれの地区に作ればいいのか、それとも集約させたところにあるのがいいのかということも考えて、次の対応をしていかなければならないという思いをしている。もう少し時間をいただきたい。

(市民)

- 建設中の新博物館の近くにある多目的広場はスポーツ振興課の管理だと思うが、あの周辺を縦割りの関係でなく、一体で考えて頂いているか。

(市長)

- まず、ふるさと歴史の広場の整備をしていく。ふるさと歴史の広場は今年度中に計画をつくって、博物館の2020年秋のオープンに間に合うような形で、あの辺の一帯を整備していこうという計画をしている。それが終わってから、次にリサイクルセンターや和田山周辺の整備計画をつくっていきたい。

(市民)

- そのあたりは、古墳等の公園もありますし、シルバー人材センターの拠点とするにはいい位置と考えている。残しておいて頂きたい。

(市長)

- どこまで整備を広げられるか、今も駐車場がまだまだ狭い状況である。博物館がオープンした時にどれくらいの来場者が来られるかということもある。それから、すばーく寺井も博物館に来てくれた子供たちがお弁当を食べられる場所にもしたいといった思いがあって、あの辺一帯をしっかりと整備をしていきたいという思いがある。もちろん今のご意見も頭に残しておく。うまく活用できるような場所にしてきたいと考えている。

(市民)

- 栗生の竹藪用水に金魚藻がたくさん生えていて、ハリンコがいた。今はかなり減った。金魚藻は、昔は熊田川にもたくさん生えていたが、今はほとんど生えていない。ところが、西任田の六ヶ用水があって、そこにだけたくさん生えている。栗生の竹藪用水には、新潟県からわざわざ花が咲いているところを見に来られた方がいた。金魚藻は水がきれいではないと育たないので、こんなところもあるということを知っておいて欲しい。

(市長)

- 機会があれば、一度見てきます。

(市民)

- 今日ここにもマイクロバスの運転をされる方が4、5人来られている。マイクロバスの管理面について、私たちが運転する時にはタイヤの空気やエンジン音の異常などの始業点検を目視でしている。それはあくまで目で見える範囲だけなので、定期的な点検はどうなっているのか心配している。エンジンオイルの交換、走行距離数なども確認しているのか。最近、中学生の送迎の運転で高速道路を使ったりして県外へ行く機会も何回かある。点検について心配になった。

(市長)

- どんな管理をしているのか調べます。

(市民)

- 今年の春の競歩大会の時に、大阪から生徒が出場していて、おじいちゃんが応援に来ていた。私はシャトルバスの運転をしていた。そのとき、この辺で能美市のお土産はどこに行ったら買えるかと聞かれた。さきほど、市長もおっしゃったが、泉台に行けば九谷焼があるが、能美市にお土産を売っている施設や、観光物産協会などができないかと思った。

(市長)

- 考えている。お土産品を売る場所について、候補とすれば、能美根上スマートインターチェンジもいいだろうし、動物園の傍もいいだろうし、九谷陶芸村の傍もいいだろうしと、いろんなことを今考えているが、ぜひ皆様方からご意見やアイデアをいただきたい。
- また、お土産品も開発したいという思いもある。たとえば、今能美市は、年間

で約 3500 万円のふるさと納税に返礼品を出しているが、寄付額を倍くらいにしたい。皆さんに支持をして頂けるような、欲しくなるような返礼品がないかという思いをしている。ぜひ、シルバー人材センターで新たな返礼品をつくっていただいたり、開発をお願いしたい。

【市長閉会あいさつ】

- 率直な、日頃疑問に思っていたらっしゃることをお聞かせいただいて有難い。シルバー人材センターの方がどんな仕事をされて、どんなことにお困りになっているのかということ、自分の目と耳で確かめさせていただいた。今日も、それを裏付けるようないろんなお話を聞くことができた。この能美市が今の状態を維持し、更に発展していくには、皆様方の存在は欠かせないという思いをしており、できるだけ皆様方に気持ちよく、そして楽しんで仕事に従事して頂けるように、我々もしっかりとサポートさせていただければという思いをしている。